

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	タートル体力運動能力開発ラボ TURTLE KIDS (児童発達支援)				公表日	令和 8 年 2 月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		特に児発は利用人数が少なく、急な欠席も多い為、職員が多くならないよう気を付けている。 利用児が少ない日はパートの方は調整する等行っている。	子どもの人数に対して職員が多い時がある(欠席等)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		以前と比較して情報量の少ない環境にはなった。	隙間等が多く、少し危ない場所がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			床がクッション性のあるものが多いので硬い床も欲しい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて個別で対応が行えられるよう職員間で連携を図っている	個室がない為、使用が難しい 児童がクールダウンできるスペースが必要と思う
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後は職員全員が把握し、保護者の評価についても意向に沿えるよう話し合いの場を設けていきたい。	保護者様の評価表を詳しく見た事がない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・早めに依頼し、定期的に行うようにしていきたい。(年3~4回程度)	・第三者へ外部評価をお願いしていたが今年度は日程が合わずできていなかった。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		休憩前の30分間で会議や報告会を行っている。 時間を有効活用しながら情報共有を行っている	外部研修の条件によって受講できる職員に限られるため、事業所内の研修内容の工夫が必要。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		発達スケール等も取り入れて、より総合的に話し合いが出来ている。 日頃から職員間で話をして支援内容を考える事ができている。 必ず複数の職員で意見を出し合っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会議等でも使用したりしている 感覚プロファイルやS-M等を有効活用している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	年間の大きな行事は担当者を置き、その人を中心にみんなで話し合って決めている リーダーだけが活動内容を考えるのではなく他の職員も一緒に考えている。	たまに情報共有されていないのでその点は改善が必要
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	児童一人ひとりに合ったプログラムに」なるよう各リーダーが考えて意見をもらいながら進めている 毎日リーダーを変えその日の利用児に必要な活動を行っている。 毎日違う職員が活動内容を考える為、毎度違う活動に自ずとなっている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝バタついて話す時間がない時がある為、事前の情報共有は課題
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	人手が足りている時は声を掛け合い、記録に入るなどの工夫をしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	ベテラン保育士や児発管、セラピスト等知識をもった人が行うようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	送迎時に園の先生と話しをしたり、見学に来てもらったりする等して、連携を図っている。	行っているが、もう少し密に行いたいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		行っているが、もう少し密に行いたいです。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		今年度より放デイを開所している為、現在進行形で情報共有の方法も模索している
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・センター主催の研修に積極的に参加しているが参加者が偏らないよう全職員が参加出来るように考慮する。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・今年度はできなかったが、来年度はぜひ計画を立てて実行したい。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	記録に出来た事・苦手な事に対するのアプローチの仕方を残す事で保護者様も気付き共通認識を持っていたら、一緒に支援する事が出来ている	今後も必要に応じて具体的な情報共有と相互理解を図ってきたい。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画案を作成した時点で保護者様に来所していただき説明を行い異議申し立てには速やかに対応を行い同意を得ながら進めている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族みんなが参加出来、保護者同士の交流に繋がられるようなイベントを設けている	まだまだ必要だと思う 「保護者会」とするとなかなか参加者が来ない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談の申し入れには、瞬時に適切な対応を行い、職員会議で話し対応策を考えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行事があった際は内容や様子をまとめたものを配布している。 毎月SNSの更新や行事・イベントの後は報告書を配布。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			もう少ししっかりと周知が必要だと思う。 災害時のお迎え等もう少し考えていき、保護者に周知していく必要がある
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		複数回答あり	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		必要な場合は受診をした際の情報提供書や指示書をコピーさせてもらっている	医師との連携が取れていない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生後の共有と対策について話し合っている	ヒヤリハットの報告が少なかったので日々気付く力をつけていきたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				